

主催・科学研究費「同時代の災厄を語る オーストリア現代文学における「死者とのコミュニケーション」」
(若手研究/19K13137/研究代表者・福岡麻子)
科学研究費「現代ドイツ文学における「転換 (Wende)」の歴史化」
(若手研究/22K13091/研究代表者・金志成)
共催・東京都立大学ドイツ語圏文化論教室

物語と ジェンダー

ドイツ文学研究と日本文学研究の交差

2024年2月3日 (土) 13:30-17:00

東京都立大学南大沢キャンパス
(京王相模原線南大沢駅から徒歩5分)

1号館 220教室

対面開催／入場無料／事前申込不要
使用言語・日本語

プログラム

エルフリーデ・イエリネク『女性の非-犠牲者』の文学的想起
福岡麻子 (東京都立大学准教授)

女の友情とミソジニー —— イルムガルト・コインの1930年代の作品をめぐって
田丸理砂 (学習院大学教授)

憧れだけは誰にも禁止できない —— ルッツ・ザイラー『クルーザー』における男同士の絆
金志成 (東京都立大学准教授)

女性の貧困と身体の新オリベラリズム —— 桐野夏生の『OUT』と川上未映子の『乳と卵』を読み直す
岩田クリスティーナ (名古屋大学教授)

沖縄の現代文学におけるジェンダー構造とポストコロニアルな権力関係 —— 二つの例をめぐって
イーナ・ハイン (ウィーン大学教授)

お問い合わせ asakofukuoka@tmu.ac.jp (福岡麻子)
chsnkm1987@gmail.com (金志成)

Gender erzählen
Ein Symposium an der Schnittstelle von
japanologischer und germanistischer
Literaturwissenschaft